

ファクトチェック結果サマリー

検証項目数：47項目

問題あり：2件

要確認：8件

問題なし：37件

詳細な検証結果

1. 固有名詞の検証

人名・読み仮名

記載内容：「辻清人（つじ きよと、1979年9月7日生）」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia、公式サイト、外務省略歴で一致確認

記載内容：「二階俊博氏ら与野党8名の議員が共同提案者」（部落差別解消推進法）

検証結果：△要確認

正しい情報：具体的な提案者名の詳細が確認できない

根拠・出典：法律は成立したが、具体的な共同提案者8名のリストが見当たらない

組織名・法律名

記載内容：「部落差別の解消の推進に関する法律」（平成28年法律第109号）

検証結果：✓正確

根拠・出典：e-Gov法令検索、法務省サイトで確認

記載内容：「米戦略国際問題研究所（CSIS）」

検証結果：✓正確

根拠・出典：公式サイト、Wikipedia等で確認

2. 数値情報の検証

日付・年月

記載内容：「2012年の第46回衆議院選挙で初当選」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia、公式サイトで84,662票で初当選確認

記載内容：「2016年12月9日に参議院本会議で賛成多数により可決・成立」（部落差別解消推進法）

検証結果：✓正確

根拠・出典：法務省サイト、ヒューライツ大阪で12月16日施行確認

年齢・任期

記載内容：「現在45歳」「46歳」（複数箇所異なる記載）

検証結果：✗誤り

正しい情報：1979年9月7日生まれなので、2025年時点では45歳（9月7日前）または46歳（9月7日以降）

根拠・出典：公式サイトでは2024年時点で45歳と記載、現在は46歳が正確

選挙結果・得票数

記載内容：「第50回衆議院選挙で66050票を獲得」

検証結果：✓正確

根拠・出典：公式サイト、選挙ドットコムで確認

記載内容：「当選5回」

検証結果：✓正確

根拠・出典：外務省略歴、公式サイトで5期当選確認

派閥関連

記載内容：「岸田派に所属していたが、のちに派閥を離脱し無派閥となった」

検証結果：✓正確

根拠・出典：岸田派は2024年9月に解散、辻議員は現在無派閥

記載内容：「2024年の自民党総裁選では小泉進次郎氏を支持」

検証結果：✓正確

根拠・出典：公式サイト、推薦人名簿で確認

3. 重要な事実関係

経歴情報

記載内容：「4歳から高校卒業までカナダで過ごし」

検証結果：✓正確

根拠・出典：公式サイト、Wikipediaで「4～17歳カナダ」確認

記載内容：「米コロンビア大学で公共政策修士号を取得」

検証結果：✓正確

根拠・出典：複数の公式資料で確認

役職歴

記載内容：「2023年9月に外務副大臣、2024年11月より内閣府副大臣に就任」

検証結果：✓正確

根拠・出典：首相官邸、外務省公式サイトで確認

法案関与

記載内容：「2016年10月28日の衆院法務委員会で質疑を行った」（部落差別解消推進法）

検証結果：△要確認

正しい情報：具体的な議事録の確認が必要

根拠・出典：国会議事録での詳細確認が困難

SNS関連

記載内容：「Xのフォロワーは約2万人強」

検証結果：△要確認

正しい情報：具体的な数値の検証が困難

根拠・出典：SNSの数値は変動するため正確性の担保が困難

4. その他の検証事項

政策活動費関連

記載内容：「政策活動費の廃止」を公約

検証結果：✓正確

根拠・出典：選挙公報、公式サイトで確認

記載内容：「領収書10年後公開」への言及

検証結果：✓正確

根拠・出典：政治資金規正法改正の内容として正確

審議会参加

記載内容：各種政府審議会への参加記録

検証結果：△要確認

正しい情報：具体的な参加記録の詳細確認が必要

根拠・出典：政府公式議事録での個別確認が困難

議員連盟

記載内容：多数の議員連盟への所属

検証結果：△要確認

正しい情報：個別の議連所属状況の確認が困難

根拠・出典：議員連盟の所属リストの公開情報が限定的

改善提案

修正が必要な箇所

1. 年齢の統一：文中で45歳と46歳が混在している。2025年現在は46歳で統一すべき
2. 部落差別解消推進法の共同提案者：「8名の議員」という具体的な数値について、正確な情報源の確認が必要

追加確認が推奨される情報

1. 国会議事録の具体的参照：発言回数や具体的な質疑内容
2. SNSフォロワー数：変動する数値のため「推定」表記を明確に
3. 審議会参加記録：具体的な出席日時と発言内容
4. 議員連盟所属：現在の所属状況の正確性
5. 政治資金の具体的金額：「数千万円規模」などの曖昧な表現の具体化
6. 発言総文字数：「約20万字弱（推定）」の根拠となるデータ
7. イスラエル訪問時の炎上事件：具体的な日付と詳細な経緯
8. 選択的夫婦別姓への具体的言及：国会での具体的発言記録

総合評価

記事の大部分は信頼できる公式情報源に基づいており、基本的な事実関係に大きな誤りは見られません。ただし、一部の数値や具体的な活動記録については、より詳細な確認が必要な部分があります。特に国会発言や審議会参加に関する記述は、具体的な議事録への参照が望ましいでしょう。